



気になる 結婚相手の過去

● 長い時間かかりましたが、やっと最愛の女性と結婚できることになりました。一つだけ心配なのは、彼女には最近まで付き合っていた男性がいたことです。「大丈夫、ちゃんと終わりにしてきたから」と言っていますが、僕は前の相手のことをずっと気にして過ごしていかねばならないような気がしています。
(梁五郎・30歳男性)

今週のお助け人

きえ りゆうしょう
帰依 龍照さん

コザ真宗寺(旧コザ本願寺)住職。琉球大学仏教研究会会長。趣味は、見た目に合わせた大型バイクと、見た目に合わない熱帯魚飼育。自分の存在そのものが、人々の癒やしであれば…と日々願う。座右の言は「恩は石に刻み 怨みは水に流せ」。

梁五郎！ よっ、色男。まずは、ご婚約おめでとうございませう。そっかあ、ついに年貢の納め時かあ…今のは冗談！ 長男が中学三年生になるわが家には、はるるか昔のことだなく。自分の時はどうだったっけ？ 大なり小なり、いろいろあったよな…やっぱり、梁五郎さんと同じく、喜び半分、不安半分だったかな？ なんて、記憶を戻しているところですよ。他人から見れば今が一番「桜花爛漫」のときなんですけどね。

ついで最近、知人の結婚式に出席させていただいた時、隣席し

ていた大学の恩師がこう言いました。「住職、ウチナーグチで結婚のことを、ニーピチ“つて言うだろう？ あれつて、何もかも根っこ(ニー)ごと引っこ抜いて(ピチ)、愛するあなたのもとへ持つていくという意味らしいなあ。へえ、へえ！ 先生お得意のいつものウンチクなんです、よくよく考えてみれば、昔の方々はよいことを言われていますよ。」



国際通りでちょっとひと休み、と思ったら先客が…。そばに寄ろうがカメラを向けようがおかまいなし。ひたすら毛づくろいに忙しい。まったくしたこの雰囲気、オキナワタイム満喫中!? 那覇市にて(まりえ)

どこに魅力を感じて結婚しようかと決断なされたか？ 顔？ スタイル？ いえいえ、これは失礼な質問でごめんなさい。もちろん、素晴らしい性格を含めた彼女の全部ですよ。そんな愛しい彼女のことを、大切に思い、愛すればこそ、「元カレ」の存在、とても気になりますよね。ただ、生涯この男性のことであるが、生半端な悩んでいかなければならないのかといいますが、これが意外とそうではないんです。

今この梁五郎さんと彼女は「アツアツ」ラブラブですから、お互いを見つめ合っている時期かもしれません(わたしだって、新婚旅行の景色、あまり覚えていないんですからねえ、わが家の愛妻しか見えていませんでしたもの、当時は)。結婚はお互いを見つめ合うことも当然大切ですが、お互いが幸福という同じ方向を見ることが、実は大切なんです。

結婚以前のことは、梁五郎さんを選んでくれたことすべて清算してあげてください。問題は結婚後、これから先、彼女が「元カレ」のことを思い出さないくらいになれるか；あなたがどれだけ幸せにしてあげられるか、なんですよ。本当ですよ！

ここは夫婦の先輩として、一言だけ「苦言」を呈しておきます。梁五郎さんが彼女を泣かすようなことが頻繁になるようだと、彼女もあなた自身も「元カレ」の存在が気になると思います。いつもお互いが笑顔に満たされて、幸福に感じられる中では「元カレ」の記憶すら消えていきますよ。そして、お二人共通のもっと楽しい話題・記憶に包まれて、ハッピーになれるはずです。「ミートウダ カーミヌチビマディティーチ」(夫婦は骨壺の中まで一緒)なのでからね。

このコーナーは年齢・性別・職業の異なるアドバイザーがあなたの心の悩みに答えます。相談したい事を編集部までお送りください(匿名可・秘密厳守。採用分には記念品を差し上げます)